

【エクアドル経済：2012年8-9月】

1. 国内経済

(1) ソブリン格付け1段階引上げ

9月17日、米格付け会社ムーディーズは、エクアドルのソブリン格付けを「Caa2」から1段階引上げ「Caa1」にした。本年6月には、スタンダード&プアーズ社が同様に「B マイナス」から1段階引上げ「シングル B」に引き上げている。格付け引上げはマクロ経済の改善が見られるだけでなく、対外クレジットの金融コスト引下げによるものとしている。

2. 対外経済

(1) 対中関係：

9月28日、陳徳銘(Chen Deming)中国商務部部長は Guo Mingshe 中国開発銀行頭取及び石油、鉱山、代替エネルギー、インフラ、科学技術、農業、その他経済戦略部門の25人の投資家により構成される代表団を帯同してエクアドルを公式訪問、コリア大統領及びパティーニョ外相と会談し、経済協力、貿易、安全保障に係る7つの二国間協定に署名した。同会合にはリカルド・パティーニョ外相、ホルヘ・グラス戦略部門調整大臣、サンティアゴ・レオン生産雇用競争力調整大臣、オメロ・アレジャーノ治安調整大臣、フランシスコ・リバデネイラ外務副大臣、レオナルド・アリスガ在中國エクアドル大使他が参加した。

両国はエクアドルへの3,000万元(470万米ドル)の贈与、4,200万元(650万米ドル)相当の2台のコンテナスキャナー機器贈与に係る書簡交換、キト新空港への経路であるシモンボルバル通りの拡張を行うための約8,000万米ドルのクレジット・ラインを中国輸出入銀行(EximBank)を通じて供与する旨の技術経済協定の署名が行われた。

また、中国政府は両国経済、貿易、観光関係を促進するため、両国間の商用直行便の創設に関心を示し、Southern社が航路分析を行う技術調査団の派遣を約した。

(2) ヤスニITプロジェクト・イタリア政府による支援

25日、ニューヨークに於いて、エクアドルとイタリアはヤスニITTイニシアティブに総額3,500万ユーロをイタリアが支援する協定を締結した。右協定に基づき、イタリアによる拠出金は国連開発計画(UNDP)が管理する信託基金に充当され、エクアドルでの社会環境プロジェクトに充てられる。右協定は第67回国連総会に於いて、マリア・フェルナンダ・エスピノサ(Maria Fernanda Espinosa)遺産調整大臣(兼ヤスニITT信託基金理事)、スタファン・デ・ミストゥラ(Staffan de Mistura)伊副大臣、ビスラト・アクリル(Bisrat Akililu)ヤスニITT信託基金理事が署名した。